

序	iii
推薦のことば	v
発刊に寄せて	vii
初版 序	ix
本書の特色と使い方	xviii
科研費を申請する前のチェックリスト	xxii

第1章 研究の楽しさ，美しさ 1

1 科研費が採択される3つの要素「アイデア・業績・見栄え」	4
2 「研究の楽しさ，美しさ」を知っていただきたい	6
3 なぜわが国の研究は停滞しているのか？	7
4 すぐれた研究をするための12の条件	11
5 なぜ申請書を書くのか？	21

第2章 科研費の制度を知る 23

1 科研費の制度が，平成30年度(平成29年9月申請時)から大幅に改定	26
2 申請時の「審査区分」と「審査方式」の抜本的な改革	28
3 「若手研究」と「挑戦的萌芽研究」の大幅な見直し	32
4 採択率と充足率のバランス	34
5 新制度への改定について思うこと	35

第3章 申請書の書き方

37

A 研究課題 38

I 基本編	39
1 「研究課題」の申請書における位置づけ	39
2 「研究課題」を書くコツと落とし穴	40
II 実践編	43

B 研究目的①(概要) 44

I 基本編	45
1 研究目的(概要)は，論文の abstract と同じである	45
2 概要の書き方の基本型は，「起承転結」である	46
3 「起承転結」で何を，どのように書くか	47
4 「起承転結」の分量とそれぞれの配分	52
5 「概要」の書き方に慣れるまでのコツ	53
6 その他の留意点	55
II 実践編	56
1 実例から学ぶ；その前に7つの留意点	56

C 研究目的②(学術的背景，研究動向，着想までの経緯など) 63

I 基本編	66
1 「研究目的で審査評価は決まる」との思いで書く	66
2 「研究目的」を書くコツと落とし穴	67
II 実践編	68
1 「学術的背景([1]本研究に関連する国内外の動向および位置づけ)」の書き方	68
2 「学術的背景([2]これまでの研究成果を踏まえた着想)」の書き方	70
3 「研究期間内に何をどこまで明らかにするのか」の書き方	74

4	「①本研究の学術的な特色・独創的な点, ②予想される結果, ③意義, 将来性」の書き方	76	4	あなたの研究業績が少ないときにどうするか?	121
5	「研究目的」に書く4つの項目の配分比率	78	II 実践編		123
6	「研究目的」における文献の書き方	78	1	書き方の実例	123
7	「見栄え」をよくするために	80	G これまでに受けた研究費とその成果等		126
D 研究計画・方法		96	I 基本編		126
I 基本編		98	1	書き方のポイント	126
1	「研究計画・方法」の申請書における位置づけ	98	II 実践編		127
II 実践編		99	1	書き方の実例	127
1	「研究計画」を書くコツと落とし穴	99	H 人権の保護および法令等の遵守への対応		129
E 準備状況および研究成果を社会・国民に発信する方法		114	I 基本編		129
I 基本編		115	1	研究をする前に研究倫理を見直す	129
1	書く前の注意点	115	II 実践編		130
2	本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料など, 現在の研究環境の状況	115	1	書く対象と書き方の実例	130
3	研究分担者(若手研究では研究協力者)がいる場合には, その者との連絡調整状況など, 研究着手に向けての状況(連携研究者および研究協力者がいる場合も必要に応じて記述)	115	I 研究経費の妥当性・必要性		131
4	本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法など	116	I 基本編		131
II 実践編		117	II 実践編		132
1	書き方の実例	117	J 研究経費(設備備品費, 消耗品費, 旅費等)		133
F 研究業績		118	I 基本編		133
I 基本編		119	II 実践編		135
1	「研究業績」は科研費が採択される第一歩である	119	1	設備備品費の書き方とその実例	135
2	書き方のポイント	120	2	消耗品費の書き方とその実例	136
3	重要な変更点	120	3	旅費, 人件費・謝金, その他の書き方とその実例	136
			K 研究費の応募・受け入れ等の状況・エフォート		137

第4章 見栄えをよくするポイント 139

I 基本編 141
1 「見栄え」は「採択される3要素」の1つである 141
2 なぜ、業績があり、先端研究なのに採択されないのか? 142
II 実践編 143
1 余裕のスペースを作る 143
2 すっきりした申請書にする 144
3 図表を用いる 145
4 わかりやすい文章のコツ: 「流れのある文章」を書く 150
5 申請書全体のレイアウトを見直す 155

付録 157

① 申請書を引き立てる表現 158
② 文の接続に有用な表現 159
③ 科研費の第1段審査(書面審査)における評価基準 160
④ 予算額等の推移 162
⑤ 問い合わせ先等 163
⑥ 新たな応募書類(研究計画調書) 164

索引 165

キラリと輝く申請書

1. 先生、どうして科研費の採択が多いのですか? 6
2. 私のよき共同研究者 14
3. 「私の恩人; 2人のK先生」「人に支えられ、人を育て、人に尽くす」 15
4. 研究するのに必要な費用は? 22
5. 「研究サイクル」; 正か負か、それが問題だ 22
6. 研究種目「若手研究」に思うこと 27
7. どの研究種目、どの区分に申請するのが有利か 31
8. 応募書類を修正しながら思うこと—科研費事務担当者より① 31
9. 1つ上の科研費にアタックしよう 36
10. とにかくお願い—科研費事務担当者より② 36
11. 「起承転結」こそ科研費の採択を左右する 46
12. 0.9 x 0.9 x 0.9 x 0.9の原則 57
13. パラグラフ・ライティングの書き方とは? 69
14. 独創性ある研究 94
15. 自己アピールはどの程度するか 116
16. 熱意こそ採択への道 122
17. 研究費に思うこと(その1); 研究費にも「格差社会」がある 134
18. 申請書を書き終わったところで、もう一度(その1) 138
19. 申請書を書き終わったところで、もう一度(その2) 138
20. 研究費に思うこと(その2); 研究費に格差をきたしている他の原因とは 143
21. 研究費に思うこと(その3); 科研費の必要性を、研究成果で示そう 149